



登下校の道で、思い出に残るところを撮影しました。



自分たちが6年間通った道で、思い出に残ること、好きだった場所を話し合いました。身近な場所なので、たくさんの意見が出てきました。



みちの場所を、地図で探しました。



撮ってきた写真にタイトルとストーリーをつけて、まとめました。



自分がつくった作品の発表会をしました。

ここでは、モデルプログラムをもとに行った取り組みの様子を掲載しています。実際に取り組んだ学校の授業の様子や先生の声を事例集で紹介しています。併せてご覧ください。

思い出いっぱい わたしたちのみち

No. 09

通学路などで思い出に残る風景を写真に撮り、それをみちのように並べて「わたしたちのみち」の絵図をつくり、思い出を書き添える。



対象学年・関連教科

【対象学年のめやす】

総合的な学習の時間 ●小学校5年生～中学校3年生

【関連する教科】

- 図画工作・美術
- 国語

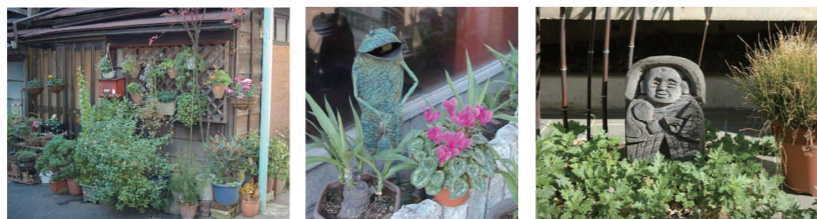
思い出いっぱいわたしたちのみち

1. 学習のねらい

- 私たちはまちを歩く時、まちの風景を見ながらいろいろなことを感じて歩いている。通学で毎日通ったみちではさまざまな出来事があり、まちの風景を見ると、その時のことを思い出することができる。
- この単元では、風景と心のつながりに気づき、さまざまな思い出とともに、心に豊かさをもたらしてくれる風景を大切にしていこうという気持ちを育てる。
- 小学校6年生や中学校3年生で実施する場合、卒業記念アルバムとしてまとめ、自分自身を振り返る機会とすることもできる。

2. 学習活動

- 自分たちの通学路(あるいは毎日通ったみち)で思い出に残ることを出し合い、みちが思い出の舞台になっていたことに気づく。
- 思い出の風景を写真に撮り、自分自身の毎日を振り返る。
- アルバムにまとめる作業を通して、その時の自分の気持ちをわかりやすく記録する方法を考え、表現する。



みちそのものだけでなく、みちばたの植木や置物なども、みちでの思い出と深くつながっているだろう。

3. 準備するもの

【用具】

- デジタルカメラまたはレンズ付きフィルム
- デジタルカメラを使用した場合はプリンタ
- 写真を貼るための台紙
(アルバムのページのような厚紙)
- 思い出のコメント用の紙

【場所】

- 地域(通学路)、教室

4. 学習の流れ(授業展開のイメージ)

	学習のねらい	学習活動	教師の指導	評価
STEP 1 【1時間】	思い出を出し合おう	● 通学で毎日通っているみちで思い出に残ることはどんなことがあったか、好きな場所はどこか、出し合う。	● 学校のまわりで、子どもたちが好きな場所、道草しやすい場所があれば、撮影し例示する。 *思い出の例：道草したこと、好きな風景、猫がいた、きれいな花が咲いていたなど。	活動への関心・意欲 (発言・観察)
STEP 2 【2時間】	思い出を写そう	● 思い出に残る場所を探しながら、撮影する。	● 地域ごとのグループで活動。 ● 事前に保護者に付き添いをお願いし、各グループに大人をつける。	課題追求能力 (写真) 表現力 (写真)
STEP 3 【2時間】	思い出にストーリーをつけよう	● 写真それぞれに思い出のタイトル、ストーリーを書き添える。	● ストーリーはその時の様子を表すとともに、どう感じたかをことばで書くと、思い出が鮮明になることを伝える。 *わくわくする、ほっとする、きれいだな、楽しかったな、など。	コミュニケーション能力 (作品)
STEP 4 【1時間】	アルバム絵図をつくろう	● ストーリーをつけた写真を絵図に並べて貼り、思い出のアルバム絵図をつくる。	● イラストなどで写真を補足してもよい。 ● 作品はお互いに発表しあったり、展示会に出品するなど発表の場を提供する。	表現力 (作品・発言)

5. 留意点

- 心に残る思い出を支えてくれている素敵な風景を大切にしたいという気持ちにつながるようにする。
- それぞれの思い出を尊重しあい、自由に発想できる雰囲気をつくる。
- まち歩きの際の交通安全を確保する。特に、観察中や写真撮影中の児童は周囲への注意が疎かになりがちになるため、安全には十分配慮する。

6. 発展へのヒント

- 「No.10：校歌の風景を見つめてみよう」、あるいは「No.11：地域景観プランナーになろう」を行う。
- 班ごとに地図と探検クイズをつくり、他班のクイズに答え合う。
- 自分の好きな場所やテーマを紹介するツアーマップをつくる。
- 祖父母・両親が子どもの頃のまちの様子の写真との比較を行う。
- 祖父母・両親が子どもの頃のまちの様子や遊び場等を調べ、今のまちと比べた三世代マップをつくる。